

◆「ライバシーマーク」取得コンサル受託中

「ライバシーマーク」の認定取得は、個人情報を取り扱う企業の安全と信頼の証であり、マイナンパー制度の本格的な運用が始まった今、個人情報は、より厳重な取組みが求められている。

今回のpage2017では、個別原価計算により製品別の収益を把握できる機能、スマートフォンやタブレット端末からVPNで本社サーバーの生産予定データを閲覧できる機能などを紹介。

また、用紙の発注機能としては、毎日一定の時間に表示を行うと、その日に発注すべきデータを自動的に集計して発注書を作成する。

さらに、オプションの「資料ボックスシステム」や「生産予定作成システム」、「進捗管理オプション」を各社で稼働中の基幹システムと連携できるサブシステムとしても使用できるようにカスタマイズして提供する。

同社の業務管理システムは、同社在籍の印刷・製本に精通した中小企業診断士、ITコーディネーターがプロデュースする。印刷・製本専門のコンサルティング会社であるGIMSとの業務提携により、システム導入診断・事業再生診断なども行っている。

◆製本専門校の講師として感謝状

ピー・エス・シーの原田社長は、昨年11月に開催された東京製本高等技術専門校の60周年記念式典で、長年にわたり講師を務めたことに対して感謝状を授与された。

また、マイナンパー制度に対しても、円滑な運用のための適切な助言や具体的なサポートを用意している。

ン機能、各種販売単価照機能なども標準搭載する「パワーアップ印刷」は、2015年に経済産業省の施策、産業競争力強化法「生産性向上設備投資促進税制」の対象となる先端製品として証明を受けた。

今回のpage2017では、個別原価計算に超え、受注が軌道に乗ってきた。いかなる環境下でも、しっかりと足元を見据えた経営管理を実現するため、中小印刷・製本業向けに見積りから受発注・売上・入金・支払に至るまで、データ一元管理によるトータルシステムを構成していることが特長となっている。受発注管理や工程・生産管理、売掛・買掛管理、さらには財務会計や給与計算まで網羅し、中小企業の基幹システムをワンストップで提供する。

原田社長は「中小企業が経営を維持発展させていくために必要とする『情報化』『カイゼン』をワンストップで提供することを事業の目的としている。引き続き、厳しい経済状況にある印刷・製本業界だが、仕事はさらに短納期・小ロット・高品質要求の傾向にある。

経営は売上アップ戦略の重要性がさらに増し、生産予定・進捗、採算の見える化によるコストダウン戦略との両輪で進んでいく必要がある」と、身の丈にあったIT化の重要性を訴えている。

ピー・エス・シー

ITで業務管理を支援

「パワーアップ」シリーズ
実績以上100社の

ピー・エス・シー(原田敏明社長、本社・東京都足立区)はブリスドールに出展する。page2017の会期に合わせ「印刷・製本管理システム」の乗り換えキャンペーンを実施する。

独立系IT企業として、すべての商品を自社ブランドで開発・販売する同社は、主力製品の「パワーアップ印刷」「パワーアップ製本」など印刷・製本業向けの業務管理システムを紹介する。

「パワーアップ」シリーズは、印刷・製本業向